

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	ビジネスマナー I	(NKT14H)	
講義名 (コード)	ビジネスマナー I B	(NKT14HB)	
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	江戸 真依子	時間数	30
成績評価教員	江戸 真依子	講義期間	春学期
実務者教員	はい	履修区分	選択
実務者教員特記欄	人事関連職歴任。新人研修、社員研修業務を担当	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	ビジネスにおける基本的なマナーを習得し、自分の意思をうまく伝え、円滑なコミュニケーションが取れることを目的とする
全体の内容と概要	さまざまな状況に応じたマナーを学び、実践に生かす
授業時間外の学修	アルバイト先などでの実践練習
履修上の注意事項等	前半は講義スタイルで、後半には演習としてクイズ、作文を毎回実施する

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	オリエンテーション/「ビジネスコミュニケーション」が理解できる①	【講義】前期で習得すること、日本人と働く心構え、上司先輩との付き合い方 【演習】クイズ・理解を深めましょう！
2	「ビジネスコミュニケーション」が理解できる②	【講義】同僚との付き合い方、就業時間外の付き合い方 【演習】クイズ・理解を深めましょう！
3	「ビジネスコミュニケーション」が理解できる③	【講義】ウチとソトの関係、チームワーク 【演習】クイズ・理解を深めましょう！
4	「ビジネスコミュニケーション」が理解できる④	【講義】配慮のある話し方、話の進め方、コラム（ジェスチャー） 【演習】クイズ・理解を深めましょう！
5	「ビジネスのルール」が理解できる①	【講義】時間厳守、就業時間 【演習】クイズ・理解を深めましょう！
6	「ビジネスのルール」が理解できる②	【講義】身だしなみ、あいさつ 【演習】クイズ・理解を深めましょう！
7	「ビジネスのルール」が理解できる③	【講義】お辞儀、報告・連絡・相談 【演習】クイズ・理解を深めましょう！
8	「ビジネスのルール」が理解できる④	【講義】情報管理、ハラスメント、コラム（身だしなみ） 【演習】クイズ・理解を深めましょう！
9	「社内のマナー」が理解できる①	【講義】話を聞くとき、指示を受けるとき 【演習】クイズ・理解を深めましょう！
10	「社内のマナー」が理解できる①	【講義】注意を受けたとき、退社時のマナー 【演習】クイズ・理解を深めましょう！
11	「社内のマナー」が理解できる②	【講義】葬儀のマナー、贈答のマナー 【演習】クイズ・理解を深めましょう！
12	「社内のマナー」が理解できる③	【講義】食事のマナー、お酒の席のマナー、コラム（たばこのルールとマナー） 【演習】クイズ・理解を深めましょう！
13	ビジネスマナーを理解し、ビジネスマナー検定の過去問題が解ける	【演習】ビジネスマナー検定の過去問題を解いて理解を深める
14	前期末テスト	【前期末試験】前期に習得した内容についての筆記試験
15	フィードバック、まとめ	【前期試験フィードバック】テスト結果をフィードバック

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	JMAM 留学生・日本で働く人のためのビジネスマナーとルール
参考文献・資料等	
備考	担当教員は新人研修、社員研修業務経験を活かした講義を通じて職業人生。キャリアについて学生自ら主体となって構想し、実現することを指導していく。